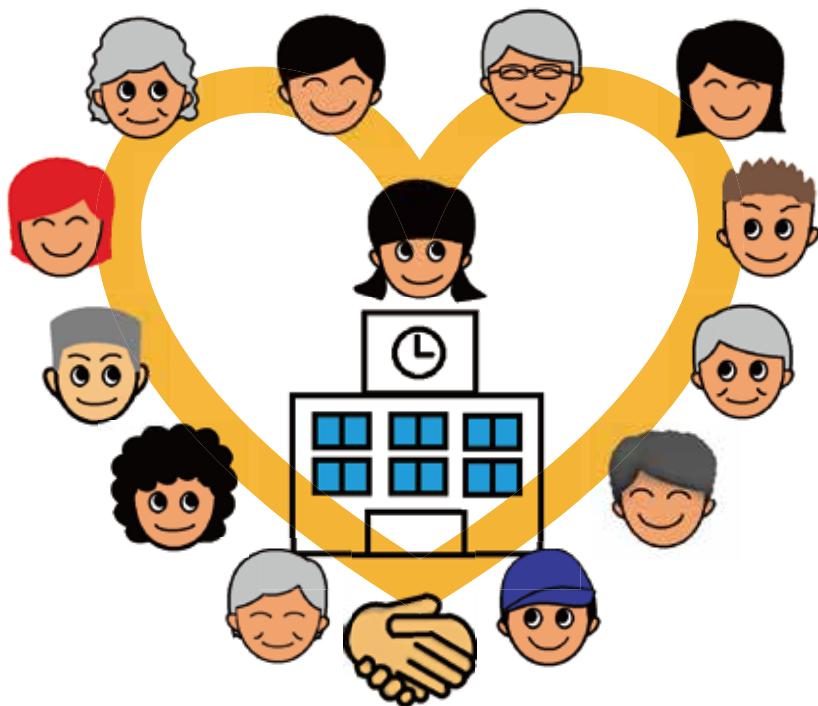


進めよう！

地域学校協働活動

Vol.2

つながる 広がる 人の輪



岐阜県社会教育委員の会

目次

	ページ
はじめに	
なぜ、今、地域学校協働活動なの？	1
どんな仕組みなの？	2
用語を知ろう	3
岐阜県の現状は	6
活動と取組を支える人	
①推進員	9
②統括推進員	11
③学校運営協議会委員	13
④公民館職員	15
⑤まちづくり協議会職員	17
⑥ボランティア	19
⑦学生ボランティア	21
⑧社会教育主事（士）	23
⑨社会教育委員	25
⑩校長	27
おわりに	29
お役立ちQ&A	31
岐阜県社会教育委員名簿	32

はじめに

岐阜県では、「ぎふ地域学校協働活動センター」（岐阜大学・岐阜県共同設置）が、地域と学校が連携・協働する仕組みづくりの支援や協働活動を支援・展開する人材の育成研修事業等を展開してきました。その成果が表れ、令和5年度の文部科学省の調査で、公立小中義務教育学校の学校運営協議会導入率は84.4%、地域学校協働本部整備率は70.2%となり、協働活動を進める体制づくりが進んでいます。また、運営協議会と協働本部を一体的に整備している学校の割合は全国第9位となっており、コミュニティ・スクールと協働活動の一体的推進も進んできています。

協働活動を促進させる上で重要な「鍵」を握っているのは、地域学校協働活動推進員等の「人」です。本ハンドブックは、協働活動を支援・展開する「人材」に着目し、その「人」自らの熱い思い・願いや活動等を語っていただいた内容を収載しています。その熱い語りの中には、そして、その「人」の思い・願いや行動等には、協働活動のさらなる促進を目指す際の大きなヒントが描かれているものと思います。

地域と学校の連携・協働に関わる全ての人が本ハンドブックを手にとられ、その「人」の熱い思い・願いや行動等から多くのことを一緒に学んでいきたいと考えています。

岐阜県社会教育委員の会 議長 益川 浩一
(岐阜大学地域協学センター長・教授 ギふ地域学校協働活動センター長)

なぜ、今、地域学校協働活動なの？

- これからの子どもたちが生きる社会は・・・

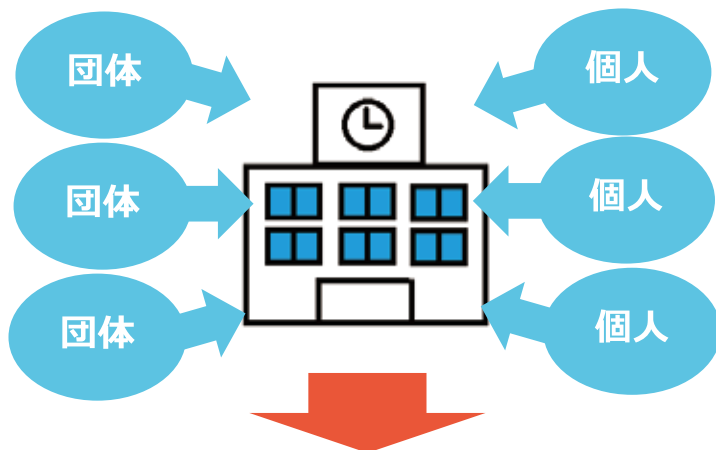


- こうした社会の中で地域の担い手を育てるには、地域総がかりで変化に対応できる力を身に付けた子どもを育てる必要があります。

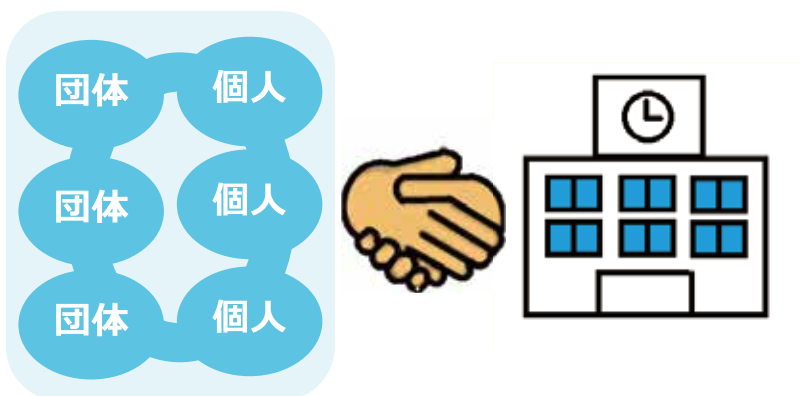


どんな仕組みなの？

- 今までは地域の団体や個人が、学校づくりを支援しました。



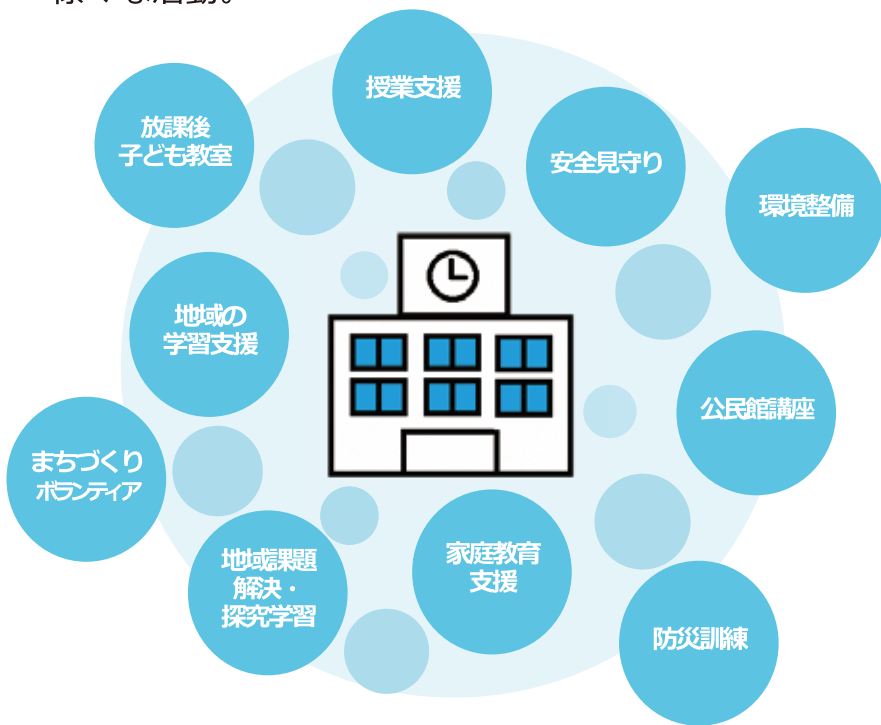
- これからは、地域の団体や個人がつながり、学校と連携・協働して地域づくりをめざします。



用語を知ろう①

● 地域学校協働活動とは

地域と学校が目標を共有し、地域全体で子どもたちの成長を支え、誰もが豊かに生きる地域づくりを進める様々な活動。



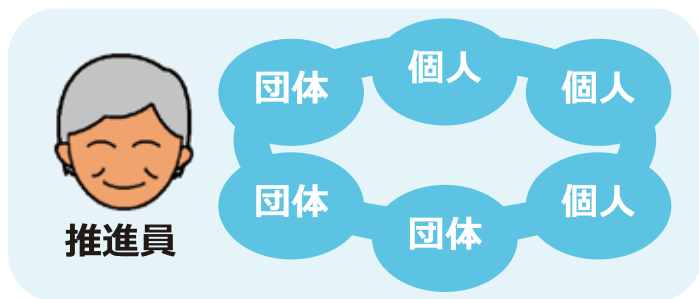
授業でも授業以外でも、学校の中でも外でも、地域学校協働活動はできるよ。

用語を知ろう②

● 地域学校協働本部とは

幅広い地域住民や団体によりつくられるネットワーク。
地域学校協働活動推進員を中心としたメンバーで構成。

★複数の学校を対象に1つの本部を置くこともできます。



“あるものいかし”の発想で
今ある組織や人がつながればいいんだね。



● 学校運営協議会とは

地域住民や保護者等の意見を学校運営に反映させるため、学校に設置される協議の場。

委員は教育委員会が任命します。

★学校運営協議会が設置されている学校を、コミュニティ・スクールと呼びます。

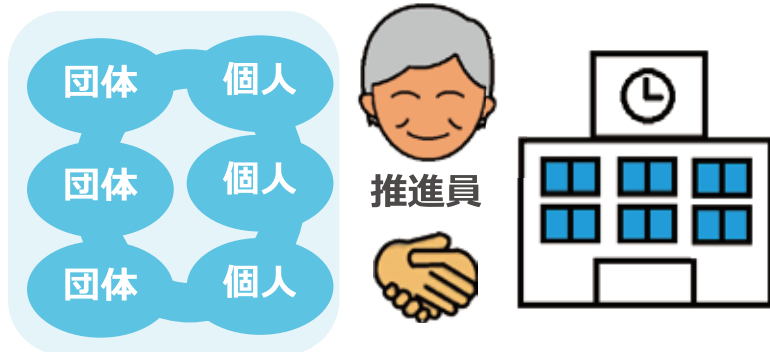


用語を知ろう③

● 地域学校協働活動推進員とは

地域と学校をつなぐコーディネーターとして、地域学校協働活動を推進する人。

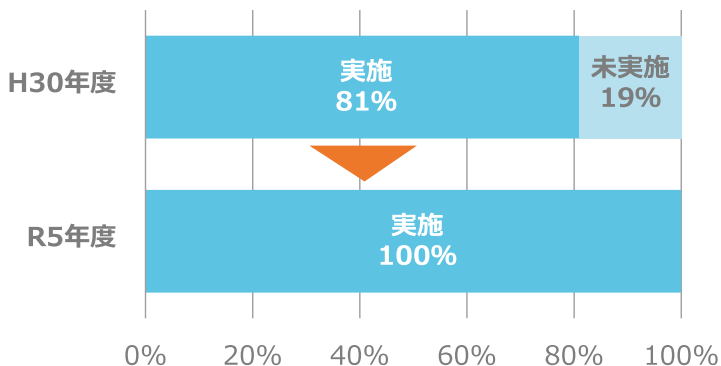
教育委員会が委嘱することができます。



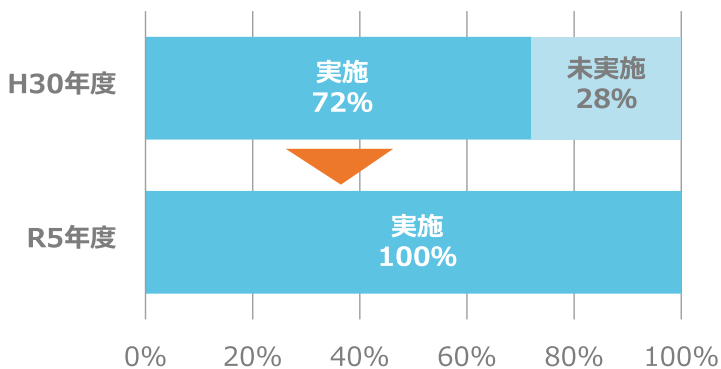
- ★ 複数の地域学校協働活動推進員がいる地域では、その調整を行う「統括的な地域学校協働活動推進員（統括的推進員、統括コーディネーター等）」を置くこともできます。
- ★ 地方教育行政法では、地域学校協働活動推進員等を、学校運営協議会の委員に加えるよう定めています。

岐阜県の現状は①

● 地域学校協働活動 実施市町村の割合



● 地域学校協働活動 実施学校の割合(公立小中義務)

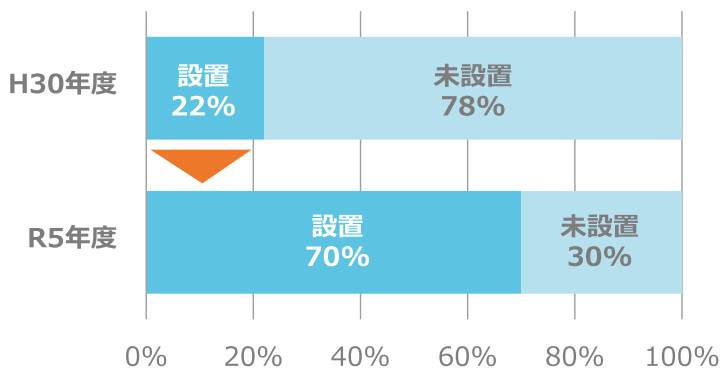


地域学校協働活動は、現在、全ての公立小中義務教育学校で行われています。

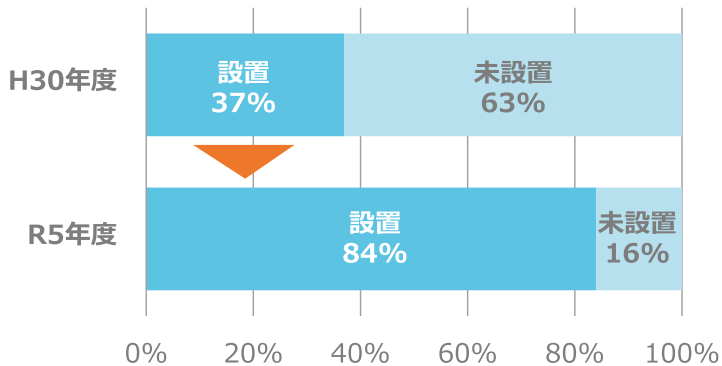
★義務教育学校…小学校から中学校までの義務教育を一貫して行うことを趣旨として制度化された新たな学校。

岐阜県の現状は②

● 地域学校協働本部 設置学校の割合(公立小中義務)



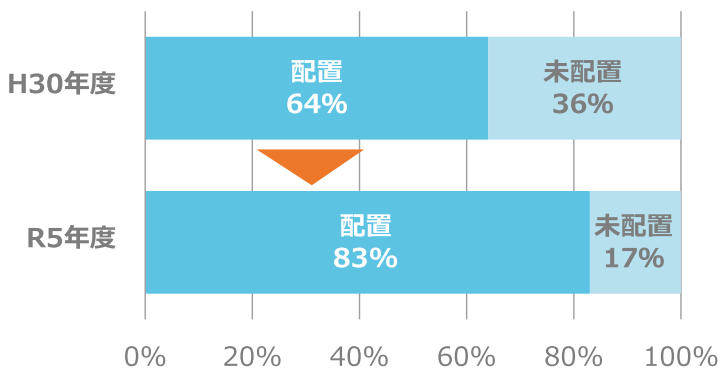
● 学校運営協議会 設置学校の割合(公立小中義務)



地域学校協働本部、学校運営協議会
ともに増えています。

岐阜県の現状は③

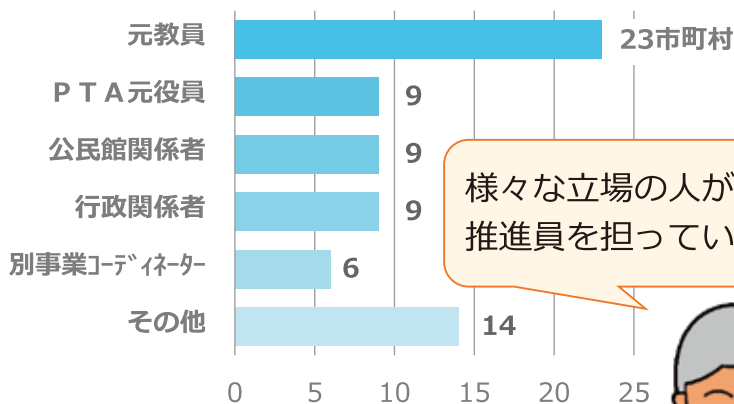
● 地域学校協働活動推進員等 配置市町村の割合



推進員を配置している市町村も増加し、
全体の4/5を超えています。



● 地域学校協働活動推進員等の立場



様々な立場の人が
推進員を担っています。



活動と取組を支える人①

地域と学校の太いパイプ役 町内の情報を一元化しよさを横展開

羽島郡二町教育委員会（笠松町）

地域学校協働活動推進員 栗本 幹雄さん

推進員



多くの地域住民や関係機関、保護者、学校が連携して実施した笠松町立松枝小学校「木曽川下り」体験。

地域学校協働活動推進員としてこう関わる

- 羽島郡二町では、岐南町と笠松町にそれぞれ専任の推進員を位置付け、学校と地域の橋渡しを実現している。
- 推進員が町内各学校の地域学校協働活動の情報を一元化することで、互いのよさを共有し、広げている。
- 社会教育関係団体、行政担当、学校職員に広がる人脈を駆使し、人と人との新たなつながりをつくっている。

活動紹介

- 地域の特色を生かしつつ、校長や学校運営協議会委員の思いを受けて、どんなことができるのか考えて動くことを重視している。
- 子どもが地域住民とのふれあいをとおして、様々な職業について学ぶ「ふれあいフェスタ」では23講座を開催。9か年を見通したキャリア教育の講師の開拓、学校への情報提供、コーディネートを進めている。
- 町の行事（町民運動会、一斉清掃、小学生向け子ども教室等）に中学生ボランティアが参画できるよう橋渡し役を担い、学校に出向いて昼の放送でボランティアを募集している。
- 多くの地域住民や関係機関、保護者、学校が連携し、1年かけて準備をする「木曽川下り」体験は、子どもたちを一回り大きくしていると実感している。

ここがポイント

- ★ 地域に広い人脈をもつ推進員が、学校と地域をつなぐパイプ役になっている。
- ★ 専任の推進員を配置することで、教員（特に教頭）の負担を減らし、働き方改革につながっている。



活動と取組を支える人②

行政各課を横につなぎ 実態に合った組織づくりを推進

瑞浪市教育委員会学校教育課
統括推進員と関係課の皆さん

統括
推進員



「日吉子どもサミット」で日吉町挨拶運動について学校運営協議会委員と意見交換をする児童。

統括推進員としてこう関わる

- 統括推進員が行政各課のつなぎ役となり、連携を推進。
- 統括推進員が地区のつなぎ役となり、先行モデル地区のよさを他に広げる組織づくりを実現。
- 統括推進員は、行政、学校、地域を広く見つめることができるため、統合によって学校がない地区での協働活動も価値付けできる。

活動紹介

- 令和元年度から5年計画で、市内3中学校7小学校に学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置を進める。令和元年度は2小学校を先進モデル校に指定。その後状況に応じ、全小学校、中学校へと拡大。
- 教育委員会に置く統括コーディネーター（統括推進員）1名が調整し、市民協働課、社会教育課、学校教育課による3課合同会議を開催。各課の役割を整理したうえで、関係する地域組織に説明を行いながら、まちづくり推進組織や公民館を生かした組織づくりを進める。
- 地区の実態に合った組織づくりを目指し、市内でも校区によって異なる形の組織を設置。
- 子どもが熟議に加わり、考えやアイデアを活動に生かす場があり、子どもの参画を実現している。

ここがポイント

- ★市として統括推進員を配置し、関係3課の役割分担と強みを生かした協働活動を推進。
- ★横の連携を生かした適材適所の人材活用。
 - ✓ 社会教育委員を学校運営協議会委員に
 - ✓ まち協の集落支援員を推進員等研修に
 - ✓ 統括推進員を学校教育課所属に



活動と取組を支える人③

「ふるさと大好き」を合言葉に 学校ではできない活動を可能に

岐阜市立岐阜小学校
学校運営協議会長 青山 朋宏さん

学校運営
協議会
委員



地域のすばらしさを伝え、大人と子どもの信頼関係を築くことを
目的に地域行事部が企画した「ふるさとふれあいウォーク」。

学校運営協議会委員としてこう関わる

- 学校運営協議会で学校と地域が願いを共有し、「子どものために」という信念を持ち活動を推進。
- 学校運営協議会会長がリーダーシップを発揮し、学校・地域の関係する人と人をつなぐ。
- 地域の大人が緩やかな形で連携し、持続可能な組織づくりを実現。

★岐阜小学校 ホームページ

<https://gifu-city.schoolcms.net/gifu-e/category/cs/>



活動紹介

- 「ふるさと大好き」を合言葉に学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進している。学校運営協議会を年7回開催し、専門部は年5回開催している。学び部、安心・安全部、地域行事部が専門部として組織され、多くのサポーターが関わっている。
- 「サマースクール」（令和5年度15講座）を開催し、学校では体験できない活動を企画し、地域の力で子どもたちの非認知能力を育成。
- 「ふるさとふれあいウオーク」により、住んでいる地域のすばらしさを子どもたちに伝え、大人と子ども、地域に住む大人同士の信頼関係を構築する機会を創出。

ここがポイント

- ★活動に関わる地域人材のよさを生かし、大人が楽しんで活動に参画する組織運営。
- ★「ふるさと大好き」をキーワードにすべての活動を仕組む。
- ★柔軟な発想力ときめ細やかな発信力、地域人材を巻き込む力。



活動と取組を支える人④

長期スパンで人材を育成し 人の循環を生み出す仕組みづくり

揖斐川町 小島公民館
公民館主事 衣斐 淳美さん

公民館
職員



「おやこぼうさいキャンプ」で、泥水の中を歩くことの大変さをみんなで体験。

公民館主事としてこう関わる

- 子どもや地域住民の主体性を引き出し、育む。リーダーでなく黒子となる。
- 様々な声を受け止め、伴走者となる。ノイズをボイスとするプラス思考。
- 人を巻き込む力と突破力。
- 地域を活性化したいという熱意と、明確なビジョンに基づく企画運営。

活動紹介

- 嫁いできたママをつなげる幼児学級、地域の横と縦のつながりを生む家庭教育学級、地域をさらによくしたいと活動する子育て支援学級の3つの学級を開催。長期スパンで地域を支える人材を育成。
- 幼児学級で育てたリーダーが家庭教育学級を運営、さらに子育て応援団として地域の担い手育成に関わった後、地域づくり協議会に参画していくという地域における学びのサイクルを確立。
- カッコいい大人のいる地域を合言葉として、地域のつながりをもとに「わくわくBASE」「おじまぁーるランチ」「ジモト大学」「おやこぼうさいキャンプ」など、子どもも大人もわくわくする多彩な活動を実現。
- 子どもを核に人をつなげ、地域づくりの主役へと育てている。

ここがポイント

- ★ 長期スパンの系統的・体系的な活動。
- ★ 持続可能な人の循環が見える活動。
 - ✓ 教えられた小学生が中学生になって教える。
 - ✓ 子育てを終えた親が子をもつ親を支える。
- ★ 子どもも大人も学び合い、育ち合う姿勢。



活動と取組を支える人⑤

住民に近い位置でネットワークを構築 多様な活動を実現

高山市 大八まちづくり協議会
事務局・コーディネーター 山本 真紀さん

まちづくり
協議会
職員



住民持ち込み企画ではじまった「大八子どもランチ」は毎回新たなつながりが生まれています。

まちづくり協議会職員としてこう関わる

- まちづくりの視点を中心に据えて地域課題と向き合い、多様な活動を企画。
- 地元に密着する中で人と人をつなぎ、地域人材だけでなく、外部人材も積極的に活用。
- 組織を持続可能なものにするために、住民に近い位置で柔らかく緩やかなネットワークを構築。

★大八まちづくり協議会HP

<https://daihachi.page/>



活動紹介

- 平成27年度に大八地区で協働のまちづくりがスタート。自主的・自助的かつ互助的な組織として地域福祉、防災、地域学校協働活動等の活動を開始。
- 地域のニーズを把握したうえで、行政、社会福祉協議会、地縁団体、市民活動団体、大学等と幅広く連携。専門性の高い活動を仕組む。
- 自分事として住民が活動に参加することを願い、住民の持ち込み企画の資金補助、場所の提供、運営方法の相談を行い、「大八子どもランチ」「チャイルドルーム」「まちカフェ」など、主体的な活動を実現。
- サポーター、地域講師を増やししながら、あるものいからの発想で協働の仕組みを構築。

ここがポイント

- ★大人が楽しむ姿が子どもに伝わることで、活動の継続の好循環が生まれる。
- ★学んだ側が教える側になることで、地域づくり型生涯学習を実現。
- ★まちづくりの視点から交付金や補助金も積極的に活用。



活動と取組を支える人⑥

得意分野を生かして 地域の大人が子どもと関わる

くろかわ地育リーダーズ

纈纈 栄子さん 鈴木 ひさ子さん

ボラン
ティア



地域の大人が講師となり、お菓子作りの体験活動を開催。放課後の子どもの居場所づくりにつながっています。

ボランティア（放課後子ども教室）としてこう関わる

- 少子化が進む今、「地域の子どもは宝」である。子どもたちが学校や家庭以外の地域の大人と関われる居場所をつくる。
- 地域のおじさん、おばさんと顔見知りになることで、子どもたちにふるさとを愛する心が育つ。
- 自身の生き甲斐として、得意分野を強みに子どもと関わる。

活動紹介

- 放課後子ども教室で行われる、小学生を対象とする学習支援や体験活動にボランティアとして参加。
- 学校の宿題や自主学習の見守り、国語の教科書の音読を聞く。
- お菓子作りや昔遊びの体験活動を行い、放課後の子どもの居場所を地域の大人が担い、地域全体で子どもたちの成長を支えていく。
- 地域の大人が子どもたちに何ができるのかを考え、無理なく楽しみながら活動に参加する。
- 子どもが地域の大人に見守られていることを実感し、信頼関係を築くことが期待できる。

✓ ここがポイント

- ★ ボランティアに関わる大人が子どもたちの笑顔や無邪気な姿から生き甲斐を見出すことができる。
- ★ 地域の大人と関わった体験をとおして、ふるさとが心に根を張り、将来地域に関わりたいという意欲を持つことが期待できる。



活動と取組を支える人⑦

大学での学びを実践

「ナナメの関係」で子どもを支える

学生ボランティア

大学生 森本 圭祐さん

学生ボラ
ンティア



社会教育士の取得を目指す大学生が、中学生の学習支援を実施。

学生ボランティアとしてこう関わる

- 学校教育や社会教育に関わる職を志す学生にとって、ボランティアは授業での学びを踏まえ、活動の意義や子どもたちへの接し方等を体験的に学ぶ貴重な場となる。
- 身近なお兄さん・お姉さんは、子どもにとって頼れる存在になる。
- 時間にゆとりをもてる夏休みなど、学生は活動に関わりやすい。

★ ぎふ地域学校協働活動センターHP
<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/gifucccs/>



活動紹介

- 公民館や中学校で行われた中学生を対象とする学習支援にボランティアとして参加。
- 勉強に苦手意識を持っている生徒もおり、分からない問題を一緒に考えるだけでなく、休憩時間にも話をして、関係づくりを大切にして取り組んできた。
- 社会教育士の資格取得を目指す中で、地域と学校の連携・協働について大学で学んだことを、ボランティアをとおして実践。学習成果を還元し、社会貢献できることを願い、活動している。
- 大人との「タテの関係」、子ども同士の「ヨコの関係」に加えて、年齢の近いお兄ちゃん・お姉ちゃんという立場で子どもたちと「ナナメの関係」が築けると、子どもの成長にもよい影響を与えられると期待。

ここがポイント

- ★ 地域社会の中で子どもが「ナナメの関係」を体験できる場。
- ★ 学習支援で学生と関わった体験をとおして、子どもたちが、将来地域に関わりたいという意欲を持つことに期待。



活動と取組を支える人⑧

社会教育主事の人脈・フットワークのよさを機動力に改革

元 羽島郡二町教育委員会社会教育課
社会教育主事（士） 杉山 善朗さん

社会教育
主事(士)



社会教育主事が地域の人材を生かした体験活動を企画して実施。

社会教育主事（士）としてこう関わる

- 元教員であることの強みを生かし、学校と密に連携。
- 社会教育の多様さ、自由を生かした活動。
- 軽快なフットワーク&調整力&細かな気配りで対応。
- 煩わしいことを大事なことに捉える発想。
- ★ 社会教育主事…都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる社会教育の専門職員。
- ★ 社会教育士……文部科学省が認定する「称号」。令和2年度からスタート。規定の科目を学修して専門性を身につけた地域のコーディネーターとして期待。

活動紹介

- 公民館に勤務する社会教育主事（士）として、子ども向けの体験講座である「子ども教室」を「地域学校協働活動」としてデザインし直し、人気事業にすることを決意。
- 参加者の視点を大切にし、見やすくわかりやすい案内パンフレットの作成、申込方法の簡略化や講座タイトルの魅力化に取り組んだ。
- 元教員としての強みを生かして積極的にPR活動。学校放送を使った宣伝、保護者との会話を通じた情報収集と発信、目を引く掲示作りなどで参加者は大幅アップ。
- 地域のクラブやサークルとつながり、多彩な教室を展開。地域の大人に「自分たちの活動は子どものためになり、クラブやサークルの存続・発展にもつながる」というメリットを示す。

ここがポイント

- ★ 学校との連携を強く意識。
- ★ 子どもにも大人にもメリットがあるwin-winの関係。
- ★ 社会教育主事（士）がもつ力は地域学校協働活動の大きな推進力。



活動と取組を支える人⑨

全体を俯瞰し検証する立場を生かし 助言者として参画

瑞浪市

社会教育委員 有賀 秀雄さん

社会教育
委員



社会教育委員の調査研究結果を提言書にまとめ、教育委員会に報告。

社会教育委員としてこう関わる

- プレーヤーではなく、全体を俯瞰し、検証できる立場として参画。方向付けや改善方法を提言。
- 社会教育委員としての情報収集力と情報発信力を最大限に発揮。
- 人づくりと共に、予算や活動拠点といった側面を含む広範囲にわたる環境整備を推進。

活動紹介

- 年間7回開催する会議で、平成30年度から4年間、地域と学校の連携をテーマに取り上げ、調査研究を行った。
- 現状をつかむため、市内8園10小中学校にアンケートを実施するところからスタート。ニーズを把握したうえで、活動の方向付けを行うとともに、市内各地区で進む実践に対する検証も進め、課題改善に向けた助言を行う。
- 委員自らが活動に対する理解を深めるため、県主催の研修に参加。独自に講師を招いて学ぶ研修も実施。
- 調査研究の結果を提言書にまとめ、教育委員会に報告。他にも校長会、教頭会、退職校長会の研修や市の広報を活用し、積極的に情報を発信。

ここがポイント

- ★ プレーヤーだけでなく、活動の後ろ盾となるような船頭役を担う人材も必要。
- ★ 現場に近いミクロの視点と事業全体を俯瞰するマクロの視点がそろって活動が躍進。
- ★ 自身の立場を存分に生かすという覚悟。



活動と取組を支える人⑩

地域づくりの一翼を担う責任者として 学校経営の夢を描き リーダーシップを発揮

郡上市立白鳥小学校
校長 村瀬 真実さん

校長



地域学校協働活動とともに、エントリー制によるPTA活動など
PTA改革も進んでいます。

校長としてこう関わる

- 校長が「地域とともにある学校づくり」だけでなく「子どもを核とした地域づくり」も担う立場であることを自覚し、リーダーの1人となる。
- 学校の特色を把握・分析し、それを生かせる活動の時期や変革のタイミングをよむ。
- 責任をもって学校職員への地域学校協働活動に対する理解促進を図る。

活動紹介

- 学校評議員会から学校運営協議会への移行では、当事者意識を大切にした協議会運営を重視。公募による委員選任を実施、学校評価の表現見直しを検討。
- 公民館とのコラボ活動、エントリー制の活動等のPTA改革、学校支援パートナーの導入等の企画を実現。子どもが地域の大人のよさをたくさん浴びて育つことを意識。
- 双方向にメリットのある関係づくりに向けて学校職員にも研修を繰り返し実施。仕組みの理解促進と社会に開かれた教育課程実現の重要性を周知。
- PTA会員作成の広報誌の発行、デザイングッズの作成をとおして、保護者や地域に広報活動を展開。

✓ ここがポイント

- ★ 学校経営において夢を描くことができる校長という立場で、楽しみながらリーダーシップを発揮。
- ★ 既存の組織や運営方法に固執することなく、企画力や行動力を生かして保護者や地域を巻き込む。



おわりに

ここに示した事例のように、岐阜県では、各地域で工夫した地域学校協働活動が進みつつあります。

将来、子どもたちは今住んでいる地域で、あるいはどこか別の地域で、社会の担い手となっていきます。子どもの健やかで、豊かな成長を支えるためには、いろいろな大人が彼らに関わること、楽しみながら活動することが大切です。多様な大人と触れ合い、その姿を見る中で、子どもたちは自身の居場所を見つけ、活動の楽しさを実感していくことでしょう。

地域の子どもたちがすてきな大人になるよう、さらに多くの皆様が活動に参画していただくことを期待します。既に活動に参加している方と、これから参加してみようという方、すべての大人に向けてエールを送り、おわりの言葉とします。

●地域の皆さんへ

地域で行っている活動を自分事として取り組みましょう。子どもの育ちや地域の活性化に貢献することは、ご自身の「生きがい」になります。



● 社会教育委員の皆さんへ

地域を俯瞰的に見ていただきながら、人と人をつなぎ地域学校協働活動に積極的に関わりましょう。



● 学校の管理職の皆さんへ

リーダーシップを発揮していただき、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて教職員の皆さんと地域学校協働活動を進めましょう。



● 市町村行政の皆さんへ

地域の実情に沿った形で学校への伴走支援、人材の発掘を進め、持続可能なコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進を支えていきましょう。



一人一人のできるところから
楽しく参加してください！

お役立ちQ&A

● 学校と地域でつくる学びの未来（文部科学省）

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>



● 関連資料・パンフレット等（文部科学省）



<https://manabi-mirai.mext.go.jp/document/index.html>

● 地域学校協働活動ガイドライン（文部科学省）

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/document/guideline/index.html>



● 地域学校協働活動（岐阜県環境生活政策課）

※令和6年4月より県民生活課



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13312.html>

● ぎふ地域学校協働活動センター（GIFU CCCS）

<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/gifucccs/>



● 生涯学習情報（指導者、団体等情報）

（ぎふNPO・生涯学習プラザ）



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/14112.html>

岐阜県社会教育委員名簿

● 令和6年3月現在

委員名	役職名
天野 知子	岐阜県社会教育委員連絡協議会会長
井上 吉博	岐阜新聞社統合編集局報道本部長
岩田 睦巳	岐阜県公民館連合会理事
宇野 舞子	岐阜県PTA連合会子育て委員
杉原 和	岐阜県公立幼稚園・こども園長会会長
益川 浩一	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学地域協学センター長・教授
馬淵 浩史	(NPO法人) 岐阜県青年のつどい協議会副理事長
松野 泰啓	七色の里プロジェクトなかはら事務局・コーディネーター
松原 勝己	岐阜県立大垣特別支援学校校長
水野千恵子	(一財) 岐阜県子ども会育成連合会副理事長
村瀬 眞実	岐阜県小中学校校長会代表
森 清美	(一財) 岐阜県地域女性団体協議会会計監査
山本 真紀	大八まちづくり協議会事務局・コーディネーター
米原木ノ実	岐阜県コミュニティ診断士

● 令和3年～令和5年

委員名	役職名(就任時)
浅野 知子	岐阜県小中学校校長会代表
横井由美子	岐阜県PTA連合会副会長
松山 昌代	岐阜県PTA連合会副会長
河野美佐子	(一財) 岐阜県地域女性団体協議会副会長
澤井 洸太	(NPO法人) 岐阜県青年のつどい協議会理事長
加藤 一紀	(NPO法人) 岐阜県青年のつどい協議会常務理事
青木 琴美	岐阜県公民館連合会理事
有賀 秀雄	岐阜県社会教育委員連絡協議会副会長
太田 尚文	関市まちづくり協議会理事
野中 準二	岐阜新聞社統合編集局報道本部報道部長
清水 優子	中部学院大学・中部学院大学短期大学非常勤講師
細江 尚子	(NPO法人) ふるさと金山理事
藤村美保子	岐阜県公立幼稚園・こども園長会顧問

ぎふ地域学校協働活動センターは

子どもを核とした地域づくり、地域とともにある学校づくりをお手伝いします

県と岐阜大学で共同設置した
ぎふ地域学校協働活動センターを拠点に、
下記のような活動推進事業を実施しています。



地域学校協働活動推進員等育成研修

地域と学校をつなぐコーディネーターとなる人材を育成する研修を実施。

市町村支援プログラム

講師派遣や検討会議への出席等、センター職員がニーズに合わせた支援を実施。

学生ボランティア派遣

市町村で実施する子ども向けの学習支援や体験活動に大学生ボランティアを派遣。

教職員等向け研修会

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について、理解を図る研修を実施。

地域学校協働活動フォーラム

地域と学校の連携・協働の推進を目的に、地域学校協働活動すべての関係者を対象とするフォーラムを実施。

- **問合せ先** 岐阜県環境生活政策課 TEL058-272-1111
※令和6年4月より県民生活課

岐阜県社会教育委員の会

「進めよう！地域学校協働活動 Vol.2」

発行 令和6年3月
事務局 岐阜県環境生活部環境生活政策課
※令和6年4月より県民生活課
〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1